第6節 公害苦情処理【大気水質保全課】

1 種類別苦情件数

(1)種類別苦情件数

平成14年度において、県及び市町村で新たに受け付けた公害苦情の総件数は885件であった。

その内訳を種類別にみると、大気汚染315件(構成比35.6%) 悪臭121件(13.7%) 水質汚濁111件(12.6%) 騒音63件(7.1%) 振動3件(0.3%) 土壌汚染2件(0.2%) 地盤沈下0件となっており、これら典型7公害の苦情が計615件となり、全体の69.5%を占めていた。

このほか、典型7公害以外の苦情は、270件で全体の30.5%であった。その主な内訳は、廃棄物の不法投棄、害虫等の発生、火災の危険(空き地の雑草等)に関するものであった。(表2-3-51、図2-3-26、図2-3-27)

(2)苦情件数の推移

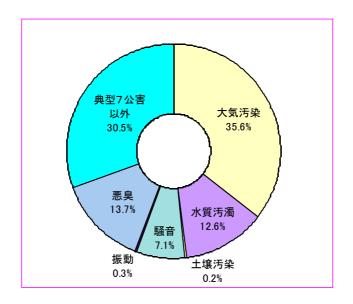
公害苦情件数は平成13年度に対し、195件減少した。

平成元年度以降における種類別の公害苦情件数の推移は表2-3-53のとおりである。

	循 则			4 Д	ը -	7 2	<u>`</u>			典型	
	種別	大気	水質	土壌			地盤			/ 公害	合 計
年度		汚染	汚濁	汚染	騒音	振動	沈下	悪臭	小計	以外	
平成	元	31	57	0	72	5	0	66	231	112	343
	2	42	66	0	61	6	0	83	258	161	419
	3	50	80	0	69	4	0	75	278	176	454
	4	61	88	2	61	3	0	70	285	145	430
	5	49	74	1	66	5	0	60	255	226	481
	6	47	53	1	74	5	0	61	241	193	434
	7	40	72	1	48	3	0	60	224	171	395
	8	69	65	1	40	3	0	85	263	105	368
	9	169	38	0	40	2	0	82	331	72	403
	10	247	47	1	44	2	0	123	464	84	548
	11	253	91	0	46	4	0	110	504	335	839
	12	228	116	5	50	3	0	151	553	214	767
	13	404	122	4	54	5	0	144	733	347	1,080
	14	315	111	2	63	3	0	121	615	270	885
対前年	度増減	-89	-11	-2	+9	-2	0	-23	-118	-77	-195
対 前 年	度比	0.78	0.98	0.50	1.17	0.60	-	0.84	0.84	0.78	0.82

表2-3-51 公害苦情件数の推移

図2-3-26 種類別苦情件数



また、種類別構成比についてみると、平成13年度に対して、典型7公害に関する苦情が1.6ポイント増加し、典型7公害以外の苦情が1.6ポイント減少した。

これは、平成13年度に対して、典型7公害より典型7公害以外の苦情の方が減少率が高かったために、種類別構成比に変化が見られた。

典型7公害以外の苦情減少の主な要因としては、害虫等の発生42件減、火災の危険27件減、犬猫の 死骸放置21件減などによる。

45.1 8.6 8.0 22.4 15.3 10年度 □大気汚染 ■水質汚濁 10.8 5.5 13.1 11年度 30.2 39.9 □土壌汚染 ■ 騒音 6.5 19.7 29.7 15.1 27.9 12年度 ■振動 ■地盤沈下 11.3 5.0 13.3 32.1 37.4 13年度 □悪臭 0.4 ■典型7公害以外 12.6 7.1 35.6 13.7 30.5 14年度 / 0.2 0.3 / 0% 20% 40% 60% 80% 100%

図2-3-27 種類別構成比の年度比較

(3)発生源別公害苦情件数

公害苦情をその発生源別にみると、「事業活動に伴うもの」が470件(53.1%) 事業活動を伴わない「その他」の苦情が383件(43.3%) 発生源が特定できなかった「不明」が32件(3.6%)であった。

「事業活動に伴うもの」を分類した中では、製造業118件(13.3%)と最も多く、以下、農業が103件(11.6%)、建設業101件(11.4%)、サービス業89件(10.1%)、卸小売・飲食店40件(4.5%)などの順であった。(表2-3-52、図2-3-28)

事業活動を伴わない「その他」の苦情に分類する中では、家庭生活186件(21.0%) 空地・公園等66件(7.5%) 道路40件(4.5%) その他91件(10.3%)であった。

「事業活動に伴うもの」のうち、製造業については、表2-4-55に示す。

表2-3-52 発生源別公害苦情件数

発生源		事業	(活動に	に伴うも	5 <i>0</i>			そ0				
種類	農業	建設業	サービス業	製造業	卸 小売 食店	その他	家庭 生活	空 ・ ・ ・ ・ ・	道路	その他	不明	計
大気汚染	25	63	34	50	12	11	90	11		16	3	315
水質汚濁	13	2	10	24	5	2	23			11	21	111
土壌汚染			2									2
騒 音	6	6	14	13	5	1	12	1	3	2		63
振 動				1		1			1			3
地盤沈下												
悪 臭	32	3	14	21	11	4	24		2	7	3	121
7 公害以外	27	27	15	9	7		37	54	34	55	5	270
計	103	101	89	118	40	19	186	66	40	91	32	00 <i>F</i>
合 計	470						383				32	885
対前年度増減	-35	-29	-39	-4	-17	+4	+7	-45	-42	+18	-13	-195
対 前 年 度 比	0.75	0.78	0.70	0.97	0.70	1.27	1.04	0.59	0.49	1.25	0.71	0.82

不明 3.6% 農業 その他 11.6% 10.3% 道路 4.5% 建設業 11.4% 空き地・公園 7.5% サービス業 10.1% 家庭生活 21.0% 製造業 13.3% その他の事業所 飲食・小売店 2.1% 4.5%

図2-3-28 発生源別公害苦情件数及び割合

表2-3-53 製造業別公害苦情件数

製造業種類	食品・ 飲料等 製造業	繊維 工業	木材・ 木製品 製造業			プラスチ ック製品 製造業	ゴム製 品製造 業	窯業・土 石製品製 造業	鉄鋼・非鉄 金属・金属 製品		その他製造業	計
大気汚染水質汚濁土壌汚染	7 7	4 2	20	3 4		3 2		4 2	3 2	4	6 1	50 24
騒 音 振 動	1		1		1	3		3	1 1		3	13 1
地 盤 沈 下 悪 臭 7 公害以外	3 2	2	1 2	2	2	1	1		3	2	4 5	21 9
計	20	8	24	9	3	9	1	9	10	6	19	118

(4)被害の種類別苦情件数

公害苦情を被害の種類別にみると、感覚的心理的被害(うるさい、臭い、不快等)が706件で、全体の79.8%を占めており、財産被害(家屋や生活用品等の破損、汚れ等)53件(6.0%)健康被害(騒音による寝不足等)32件(3.6%)動植物被害(農作物、養殖魚、ペット等の被害、損害等)13件(1.5%)の順であった。

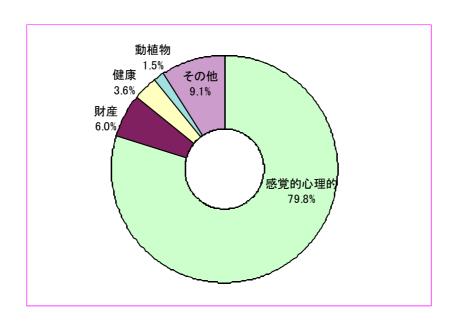
また、その他として、苦情申立人に直接の被害が及ばないものや、環境悪化を問題にするもの等、 上記のいずれにも該当しないものが81件(9.1%)であった。

なお、生命にかかわる被害は発生していなかった。(表2-34-54、図2-3-29)

表2-3-54 被害の種類別公害苦情件数

種類 公害	健康	財 産	動 植 物	感 覚 的心 理 的	その他	計
大水土 気質壌 気質壌 脈 発 動	16 1 3	3 17 1 1 2	9	292 70 1 56	4 14 1	315 111 2 63 3
地盤沈下 悪 臭 7公害以外	8 4	1 28	2	112 174	62	121 270
計	32	53	13	706	81	885

図2-3-29 被害の種類別件数及び割合



2 公害苦情の処理件数

公害苦情を受理した機関別にみると、全件数885件のうち、県の機関で受理したものは294件 (33.2%) 市町村で受理したものは591件(66.8%)であり、公害苦情の処理状況については、年度内に県の機関及び市町村において直接処理したもの848件、警察・国等へ移送したもの13件、翌年度へ繰越したもの16件であった。

また、原因が不明で一時的な現象であったため、直接処理が不可能であったもの(「その他」)も 8件報告された。(表2-3-55)

市町村別・種類別公害苦情件数は、表2-3-56のとおりである。

表2-3-55 苦情処理状況

項目 年度	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1 3	1 4
苦情件数	430	481	434	395	368	403	548	839	767	1,080	885
直接処理件数	401	451	410	353	333	381	529	789	685	1,027	848
直接処理率(%)	93.3	93.8	94.5	89.4	90.5	94.5	96.5	94.0	89.3	95.1	95.8

表2-3-56 市町村別・種類別公害苦情件数

	大気	水質	土壌	騒音	振動	地盤	悪臭	小計	7公害	合計	人口千人
±	<u>汚染</u>	汚濁	汚染	0.4	0	沈下	0.4	017	以外	417	当り件数
市部 郡部	145 170	63 48	1	24 39	3	0	84 37	317 298	100 170	417 468	1.04 0.97
甲府市	76	20	'	17		- 0	34	147	23	170	0.89
富士吉田市	28	9		1			12	50	4	54	0.99
塩山市	9	5		2			4	20	3	23	0.87
都留市	7	6	1	_			4	18	5	23	0.68
山梨市 大月市	9 15	7 1		1			21 5	38 22	10 35	48 57	1.49 1.76
エ	1	15		2			4	22	20	42	1.70
東山梨郡	8	1	0	4	1	0	5	19	33	52	2.02
春日居町	6			2	1		5	14	20	34	4.77
牧丘町	1	1						2	1	3	0.49
三富村								0	2	2	1.53
勝沼町 大和村	1			2				3 0	8 2	11 2	1.14 1.28
東八代郡	8	3	0	8	0	0	6	25	8	33	0.45
石和町	1	2		2		·	3	8	3	11	0.41
御坂町	2			1			1	4	1	5	0.40
一宮町	2						1	3	2	5	0.44
八代町	1	_		2			1	4	_	4	0.46
境川村 中道町	2	1		3				6 0	1	7 1	1.47 0.18
^{中垣町} 芦川村								0	'	0	0.18
豊富村								0		0	0.00
西八代郡	5	3	0	0	0	0	1	9	16	25	0.96
上九一色村								0	4	4	2.42
三珠町								0		0	0.00
市川大門町	2	2					1	5	12	17	1.57
六郷町 下部町	1 2							1		1	0.24 0.56
<u>下部町</u> 南巨摩郡	6	4	0	1	0	0	2	13	5	18	0.36
増穂町	3		- 0	1	- 0	-	2	6	1	7	0.52
鰍沢町	1	1						2	2	4	0.90
中富町	1							1		1	0.23
早川町								0		0	0.00
身延町	1	2						3	1	4	0.50
南部町 中巨摩郡	103	1 24	0	22	0	0	6	1 155	1 56	2 211	0.19 1.22
竜王町	62	5	- 0	10	- 0	- 0		77	15	92	2.33
敷島町	15	3		3			1	22	27	49	2.56
玉穂町		1					2	3		3	0.30
昭和町	22	9		7			1	39	9	48	3.01
田富町	3	1						4		4	0.24
八田村 白根町		1		1				1 2	2 2	3 4	0.41 0.20
芦安村		'		'				0		0	0.20
若草町	1			1				2		2	0.17
櫛形町		2						2		2	0.10
甲西町		1					2	3	1	4	0.31
北巨摩郡	19	8	0	4	2	0	11	44	44	88	1.39
双葉町 明野村	15 2			1			1 4	17 7	13 16	30 23	2.24 4.61
明野州 須玉町	2	1		'			2	3	3	6	0.83
高根町	1	i					3	5	3	8	0.83
長坂町		4		2	2		1	9	2	11	1.16
大泉村	1	1						2	3	5	1.09
小淵沢町								0	1	1	0.17
白州町		1						1	2	3	0.69
武川村 南都留郡	13	2	0	0	0	0	5	0 20	1 6	1 26	0.29 0.51
秋山村	13		U	U	U	U	3	0	0	0	0.00
道志村		1					1	2		2	0.92
西桂町	1						1	2		2	0.40
忍野村	5	1					2	8	4	12	1.42
山中湖村	1							1	1	2	0.34
河口湖町	2						1	3	1	4	0.21
勝山村 足和田村								0		0	0.00 0.00
是和田村 鳴沢村	4							4		4	1.29
北都留郡	8	3	1	0	0	0	1	13	2	15	0.52
上野原町	8	3	1				1	13	2	15	0.56
小菅村								0		0	0.00
丹波山村	0.1-	441		0.0			10:	0	272	0	0.00
県計	315	111	2	63	3	0	121	615	270	885	1.00